

〔巻頭言〕

札幌学院大学心理臨床センターのこれまでとこれから

札幌学院大学心理臨床センター長 井手正吾

札幌学院大学の心理臨床センターは、2010年3月末で開設15年を迎えた。本学の心理臨床センターは、10周年となる臨床心理学研究科の開設に5年ほど先がけた1995年に、人文学部附属の研究教育施設として開設された。1998年には地域からの要請に応じて心理臨床活動を開始し、2000年の大学院臨床心理学研究科開設に伴い、学部附属から大学附属の心理臨床センターへと変更され、臨床心理学研究科の教育訓練施設としての役割も担うようになり今日に至っている。

本学の臨床心理学研究科は2001年4月には財団法人日本臨床心理士資格認定協会から、道内で最初の第1種指定校として指定を受けており、2003年に行われた実地視察では本学の教育体制は高い評価を得ている。これは研究科設置の基礎となった人文学部人間科学科に在籍していた臨床心理学専攻の教員の努力により、すでに心理臨床センターが活動を開始しており、本学卒業生の研修や地域の心理臨床家の研修に一定の役割を果たしていたことからであり、また、研究科を立ち上げて院生の教育・訓練を開始するにあたって、それまで心理臨床センターを運営してきた実績を有していたからでもある。

現在の心理臨床センターへの来談者は幼時から70歳を越す方まで幅広い年齢層で、相談内容についても家庭や学校・職場での対人関係をめぐる問題、発達障害、子育てや教育に関する悩みなど多様である。中には精神科病院や心療内科クリニックなどの医療機関と連携した対応が必要なケースもある。

本学では院生は実習生として、教員は研究員として心理臨床センターの構成員となり、実習生は研究員の助言・指導を受けながら心理相談活動に当たることになっている。修士課程の1年前期では、臨床心理学基礎実習をはじめとした研究科での教育と並行して、心理臨床センターで毎週スタッフ全員が出席して開催されるケース・カンファレンスへ参加することになる。1年後期から心理臨床センターで実際に心理相談活動にかかわるようになる。インターク面接への陪席から始まって、その後の継続面接を担当するようになると、一回毎に1対1のスーパーヴィジョンが行われる。スーパーヴィジョンは、かなり密度の高い臨床指導となり、研究員と実習生の関わりで実習生は、ある意味来談者と同じような立場になるところもあり、臨床的な知識、技術や態度を実感をもって身につけていくことになる。研究科開設の当初からこのような研修体制が取られてきたのは、心理臨床経験豊富な教員スタッフがそろっていたことと、次世代を担う心理臨床家の養成にたいする各教員の熱意に支えられていたからでもある。

2010年3月までにこのような研修体制のもとで育って研究科大学院・センターを旅立った実習生は98名であり、その修了生の殆どが地域社会における病院、教育、司法などの臨床現場で、本学の大学院とセンターで身につけた知識や技能を大いに活かし心理臨床家として活躍している。

本学の实習生にとっては、これまで比較的恵まれた研修環境が提供できてきたが、学部教育も担当している教員の負担は相当なものであり、心理臨床センターへの専任教員の配置や大学院専任教員の配置、さらには学外スーパーヴァイザーを充実させること、修了生にもその役割を担ってもらえるような体制を整えていくことが今後の課題である。

日本における臨床心理士養成の歴史は20年を越えたが、道内では臨床心理士取得後5年未満の者が多く、大学院修了後の研修が喫緊の課題となっている。本学の研究科と心理臨床センターでは、年に数回道内外

から著名な心理臨床家を招き、「特別事例検討会」や「拡大事例検討会」を開催し、修了生や他大学の院生にも研修の機会を提供してきている。本学研究科では2010年3月で開設10年の節目を迎え、この機に研究科の同窓会を設立し、修了生と院生との相互研修の場を持つことなど検討しているところである。

道内で私どもの研究科と心理臨床センターがどのような役割を担うことが可能であるのか、模索していきたいと考えている。2008年7月には「北海道指定大学院と北海道臨床心理士会による連絡協議会」が組織され、道内の他大学との連携にも取り組みつつある。2009年6月には、日本心理臨床学会の「第30回大学院生・初学者心理臨床研修会」を札幌で開催していただいたし、2010年1月には本学社会連携センターを会場として札幌国際大学との共催で心理臨床セミナーを開催したのもその一つである。

2009年7月には飯田眞先生をお招きし、研究科開設10周年記念講演会を開催した。さらに、2011年7月には、臨床心理学研究科開設10周年・心理臨床センター開設15周年記念事業として、前田重治先生と北山修先生をお招きすることができ、「創造性と心理臨床」と題する講演会を開催する。2011年5月には、日本心理臨床学会第30回春季大会を本学で開催する予定である。本学教職員と在学院生だけの力では到底臨めない規模の大会である。修了生をはじめとして関係各位のご支援・ご協力を切にお願いする次第である。

臨床とは、患者やクライアントと呼ばれる利用者の方と、医師や臨床心理士などの専門家との関わりがあって初めて成立する。心理センターの発展も来談者なくしてはありえない。これまで私どもの心理臨床センターを利用していただいた来談者の方々に、そしてこれまで在職された教職員の方々、学外スーパーヴァイザーの方々、大学院生・修了生の方々などこれまで研究科及び心理臨床センターの発展にご助力・ご支援を賜ったすべての方々に深く謝意を表したい。